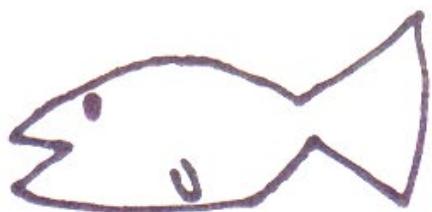


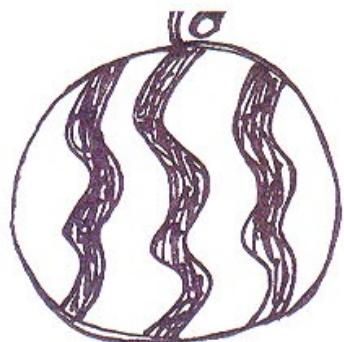
よ
たち

肌
通

木暮井汰蓄
10才

8月号
vol.73





8月号の
表紙

今月号の表紙は、

とても天気がよい海で、きもちよさ

こうにさかなさんたちが“泳いで”

いる樂しそうな夏らしい表紙です ☺

かっこよいヨットも2舟ありますね ▶

読書とDVD鑑賞が趣味で、

サッカーが好きだそうです！DVDは何を見るのが

好きなのでしょうか？気になりますね ○!!

得意な事は、習字で、いつも習字教室の

あとに来てくれている頑張りやさんの

男の子がかけてくださいました!!

院長はじめ スタッフ一同 いよいよ感謝いたしました。

先日社長をやっている友人から聞いた話。20代後半の社員が有給明けから出勤しなくなつた。その日の午後、その父親から電話があり、パワハラを受けているから社長から謝って欲しいといつてきた。下記に経緯を記す。

〈上司が依頼した内容〉

- ・社外の室外機の上面や前面が雨風で汚れたため、拭いてきて下さいと依頼。

〈上司が依頼した理由〉

- ・得意先の来客から室外機の汚れを指摘されたことがあり、上司も日頃から気にしていた。
- ・依頼したその時の一般業務は比較的平常時より時間的余裕があつたため、依頼するに至つた。一方、当の社員は有給休暇以降何の連絡を会社にしてくるでもなく休み続けていたため、父親の言い分かどの程度本人の意と合致しているのかは、社長にも計り知れぬ点があるという。父親の言い分はこうだ。(要約)

- ・室外機の拭き掃除は、我が子だけがやらされた。
(20代後半)

- ・炎天下でやらされた。

- ・このことによつて精神的苦痛を受けた。

以上を受けて社長は私にこう話を続けた。(要約)

- ・他の社員にも似た様な仕事である郵便受けの拭き掃除等々、過去に依頼している。本事例は特別なことではない。(社屋外のスチール看板や雪かき等)。

・炎天下であつたとしても 15~20分程度で終ゆる
作業であつた。

・入社時の契約書で一般業務以外のその他の業
務に関する取り決めは成立している。

この話を聞いて私はこう思い社長に言った。
「全く呆れる話だね」、20代後半だる。今まで何を生
きてきたんかね。その人にとては掃除 イコレ 苦痛
イコレ パワハラ、なんだろ。掃除は専門の業者さんに
でもやらせろ、てな具合なのだろう。父親の主張が
まかり通ったら、この程度のことではパワハラになるのなら、
日本の将来はないに等しいだろ。だって小学生が
学校でやってる掃除だって、親がうちの子供に何
で掃除をさせるのか!? その意義や交力用を教えろ!
と、教師に言い寄ってくる様な時代。

「じゃあ聞くが」と私はその父親に言いたい。あなたの家の
掃除は一体誰が行っているのか。その社員の母親(あなたの
妻)が行っているのならあなたはパワハラを行っているこ
とと同じじゃないのか。もともとこの論理は室外機
拭いた当人の、その業務に関する考え方や考え方や
掃除に関する人生観にも関わってくると思うが、
「掃除」=「雑用」又はそれ以下と考える日本人が増えた
ことは悲観しなくてはいけないことである。

「掃除」は「事の後始末」「汚れたものを元に戻すこと」だと私は思う。大体 掃除が出来ない人がまともな仕事は出来ないと私は思う。逆に上手に掃除や家事が出来る人は比較的何をやらせても、仕事は出来るものである。

私は試しにその社員の仕事、ぶりを聞いてみた。するとやはり、ミスが多く会社にも損失を与えることも少なくない、たという。

先に述べた「掃除の効用」を聞いてきた親がいるという話は何かで読んだことがある。

掃除は効用などを知った上でやるものなどではない。その意義はやっているうちに自分が理解していくものだ。人に教えてもらう机上のものではない。

少なくとも当クリニックにおいて、現行勤務している職員にこう考える人がいないことは、院長とて感謝すべくことである。

院長、挙